

令和4年8月開成町教育委員会定例会 会議録

日 時： 令和4年8月29日(月) 15時30分～

場 所： 開成町民センター 中会議室B

出席者： 井上教育長、村岡教育長職務代理者、野地委員、上野委員、
本澤委員

【事務局】岩本教育委員会事務局参事兼学校教育課長、
高橋生涯学習課長、川口生涯学習課スポーツ班長
尾川学校教育課学校教育班長

議 事：

1) 開会 教育長より開会の宣言

2) 会議録署名人の指名 上野委員が指名された。

3) 議事

《協議事項》

(1)令和3年度開成町教育改革の取組について

・資料1について説明した。

○教育長 協議事項(1)令和3年度開成町教育改革の取組について事務局から説明してください。

○事務局 令和3年度開成町教育改革の取組ということで、以前、評価結果の中身については、皆様から指摘をいただきました。それを反映したものに赤字で修正したものを配布しております。今回は、赤字の修正部分に対する意見等をいただきたいのが一点と令和3年度の取組に対する総括的な意見について、皆様からいただいた文面等を参考にまとめたものですが、これについても意見をお願いいたします。なお、この取りまとめにつきましては、今回、教育委員のみなさまからの意見で直した文面と総括的な意見について検証委員に見ていただき、最終版を次回の教育委員会で提案させていただき、確定したものを10月末の全員協議会、議会に報告をしていきたいと思っています。まずは赤字部分、総括的な意見につきまして、意見をいただきたいと思います。よろしく願いいたします。

○教育長 ただいま説明がありましたように、点検評価については、朱書きでの文面と総括的な意見について、まとめの文面でよろしいかということです。はじめに、点検及び評価結果にお気づきのことがありましたらお願いします。

○事務局 これから教育検証会議の委員の方々にも、この文面の修正につきましては、教育委員会を経て、確認していただくという作業に入っていきますので、次回の教育委員会までの間に、意見等追加部分がありましたら、反映をさせていただきます。修正がありましたら、来月の定例の教育委員会に最終版を出させていただきます。

○教育長 今日ですべて決まるという文面ではないということです。もう一か月くらいは時間がありますので、こちらにつきましては、気づいた時点でご連絡ください。

次は、総括的な意見の文面についてご意見がありましたらお願いします。こちらも同様に次回までの間で、追加の部分ですとか指摘の場所がありましたら、よろしくをお願いします。

○事務局 来月の定例教育委員会が9月28日になりますので、9月20日ぐらいまでに、意見等ありましたら、いただけると助かります。

○教育長 本件については、第三者機関である評価検討委員会も、別途会議を持ちますので、それらを踏まえて、次回9月28日に再度正式な提案をさせていただくことになりますので御了承ください。それでは、協議事項(1)令和3年度開成町教育改革の取組については、ここまでとさせていただきます。

《報告事項》

(1) 園・学校給食費の支払い方法の在り方等について

・資料2について説明した。

○教育長 報告事項(1)園・学校給食費の支払い方法の在り方等について事務局から説明してください。

○事務局 それでは資料2をご覧ください。園・学校給食費の支払い方法の在り方等についてということで、こちら、事務局で給食について懸案となっている事項について、今後検討させていただきたい項目について事前に情報提供をまとめたものです。全部で3点ございます。

1点目が、物価高騰による給食納付金の在り方です。物価が高騰している中で、以前の教育委員会の中でも、情報提供させていただきましたが、何とか現状の給食の質を保ちつつ、栄養価、カロリー等のバランスを保った給食を提供するために今回、国の交付金を活用させていただき、7月随時会議で物価高騰分の予算を認めていただいているところです。次年度以降も、安定した給食運営を継続していくため、給食費をどうしたらよいかということについて給食管理委員会を開催し、教育委員、関係機関、栄養士、学校長等に集まっていただき課題の共有をさせていただいたらと考えているところです。

2点目は、教職員の事務負担軽減及び保護者の利便性向上に向けた公会計の在り方についての検討です。こちらは、給食費の納付金の支払い方法なのですが、現状は、さがみ信用金庫の口座振替を利用して、保護者は口座振替を使って、いったん学校長の口座に入れて集まったお金を町の会計に入れるという形で公会計をしています。

さがみ信用金庫から口座振替のサービスが今年度いっぱい終了したいという申し出がありました。町としても今後それに代わる何らかの納付方法の在り方について検討しなければいけないという必要性があります。

今、国が示すいわゆる「公会計」は、町で行われているような学校を経由しないで直接保護者の口座から町の会計に払い込みができるような在り方です。教職員の負担軽減を図るところもありまして、いま検討しているところです。今、支払方法も現金のみとなっていますので、たとえばクレジットなど、いくつもの支払い方法がある中で、

保護者の利便性を図りつつ、給食費の確実な徴収ができるかということも併せて検討していきたいと考えています。

3点目は、令和6年度以降の文命中学校の給食運営についてです。現状、幼稚園と小学校につきましては、民間委託になっていますが、中学校が直営となっています。現在、給食調理業務を3名の現業正規職員と会計年度任用職員で運営していますが、令和5年度末に2名の給食調理員を退職するという状況がありますので、町としては令和6年度以降、文命中学校の調理業務委託を民間委託にしようと考えています。町の方針として、給食調理業務については民間委託という方向性が出ていますので、残すは中学校のみという状況です。町としては、6年度4月1日から委託にかけていきたいと思っています。こちらも給食管理委員会で検討させていただく予定です。

○教育長

公会計化についてですが、一般的に公会計化と言われると、保護者と町、設置者とダイレクトにすることを言いますが、開成町の会計化は、学校の管理者である校長の口座に一旦入って、校長口座から町に入るという学校長口座でワンクッション置いている公会計です。また、取扱金融機関がさがみ信用金庫のみということで、保護者の側からすると不便をかけていますが、学校側からすると、金融機関が一本なので、煩雑さが少ないという良さがありました。学校長の口座に多額の金が集まるのはどうだろうというところで、最近の公会計化は保護者と町という傾向が強まっているところです。今回、令和4年度末をもって、さがみ信用金庫が口座振替を終わらせたいということですので、現在、国が求めている公会計化を進めてはどうかということでご説明させていただきました。

給食調理業務委託についてですが、文命中学校以外は、民間委託です。町費の正規給食調理員は、文命中学校で仕事をしておりますが、その方々が順次定年を迎えるため、きりの良いタイミングで令和6年度以降民間委託にしたいという考えを持っているということです。これらにつきましても、今後、皆様に何らかのかたちでお諮りさせていただきます。

来年度以降の給食費についてですが、物価高騰分を勘案し、今後、安心安全かつ質を確保した給食をどのように提供していくかについて検討していくことを考えています。今年度は、国の交付金を活用して約750万円を議会でお認めいただいたところですが、来年度以降交付金があるかどうかは分からない、物価が下がるかどうか分からないなど不透明な状況があります。

来年度以降の給食費の在り方を検討していきますが、これについては、個々の児童生徒等が消費するものだから、それぞれ個人負担でという話題もあったかと思うのですが、まず、給食管理委員会等で意見を吸い上げながら皆様方にお諮りしていきたいと思っています。何か御意見等はございますか。

○委員

給食がない自治体は当然給食費が物価高騰で上がっているので、それと同じように考えると、給食あるなしに関わらず、反映されて行くの

はしようがないと思う。

○教育長

他自治体の状況ですが、伊勢原市もまだ完全給食ではありません。中学校はお弁当のところが多い状況です。

給食については、温かいし、栄養を考えてくれるし、値段的にもかなり抑えられていることが義務教育学校給食の良い所だと思うのですが、ある程度の負担もやむを得ないのかなという意見もあろうかと思いますが、いかがでしょうか。

○委員

物価高騰分を町が全額負担とするとなると財政負担がかなりのものになる。今年度のような国の補助金が来年度以降も活用できるか不透明な状況があるので、給食値上げを検討する必要はあると思う。

○委員

保護者の中には、給食費が原材料費だけになっているということを知らない人が多いのではないか。実際に保護者の方は買い物をして値段が上がっているのは承知している。材料費を同じ金額でやれるわけではないのは、当然であり、しかも、原材料費だけであれだけのものを食べられるということは、親にとってありがたいことだと思う。

一部の保護者は、足りない部分は、町が負担すればよいのではと主張される方もいると思うが、本来は家にいれば、自分で食べる部分を原材料費だけで食べているということをきちっと伝えれば、分かっていたらと思う。私は、値上げはやむを得ないことだと考える。

○教育長

他に御質問はございますか。

○全委員

質問なし。

○教育長

それでは、報告事項（１）園・学校給食費の支払い方法の在り方等についてはここまでとさせていただきます。

（２）経過報告、今後の予定について

- ・資料４について説明した。

○教育長

報告事項（２）経過報告、今後の予定について事務局から説明してください。

○事務局

資料４をご覧ください。８月の経過報告をいたします。８月１２日と１５日を学校閉庁日となっております。８月１７日の定例教育委員会は、本日に移っています。８月１８日は、教育講演会ということで、西湘地区教育委員会連合会主催で、オンラインで受講をしていただきました。８月２３日は、開成町教育講演会を開催させていただきました。同日ですが、令和４年度西湘地区教育委員会連合会研修視察ということで、こちら村岡委員に代理で出席していただきまして、本日の資料「不登校特例校分教室 視察資料」ということで、皆様にお配りしております。８月２９日登校指導日ということで、本日から２学期が始まっております。

２ページ目をご覧ください。９月の予定です。９月６日から９月定例議会が１４日まで開催されます。９月８日は令和４年度市町村教育長・教育委員研究協議会の第２回となります。９月１５日は登校指導日、２８日は９月の定例教育委員会、中会議室Ｂで３時半から開催させてい

ただきたいと思います。以上です。

○教育長

続いて、生涯学習課から行事関係の報告をしてください。

○事務局

8月の行事につきましては、三番目の夏季パトロールを21日の日曜日ですが、これは雨天のために中止となりましたが、あとはすべて実施しております。9月の予定ですが、25日の日曜日、水辺のパークゴルフ場において、県パークゴルフ協会の主催によりますパークゴルフ全国大会がございます。10月につきましては、2日の日曜日に「かいせいスポ・レクフェスティバル2022」をかいせいスポ・レクフェスティバル実行委員会の主催で行います。これにつきましては、この後担当から説明がありますので、よろしく申し上げます。生涯学習課は以上です。

○教育長

学校教育課・生涯学習課の行事についての報告をさせていただきました。村岡委員の方から、8月23日に出席した令和4年度西湘地区教育委員会連合会研修視察の報告をお願いします。

○委員

大和市では不登校特例校分教室を設置することになったということです。コンセプトは、「長期間不登校状態にある生徒の社会的自立に向けた、より多様な学びの場として新たな選択肢のひとつとする」ということで、基本的には90日以上欠席が続いている子どもを対象としている。ポイントは、「社会的自立に向けた」というところで、通常ですと、今いる学校に早く出席できるような形になるかと思うのですが、先を見越している部分がある。

また、「既存のカリキュラムにとらわれない子どもたち一人ひとりの実態に合わせた独自のカリキュラム編成がなされた教育課程」ということと、基本的には、無理して登校しなくてもオンラインでできるようにと一人一台端末を活用したオンライン学習も考えていたとのことである。

登校のみを目標としないということが大事だということで、中学校卒業後の社会的自立に向けた、より多様な働きかけが可能になると考えているという部分が今までとは違っている形になっていたかと思う。センター機能などは、後でここでやったことを各学校が参考にしたり、ノウハウを出したりしていくということだった。

開設場所は、本校は引地台中学校だが、定員30名で各学年10名ずつの予定であり、実際には、13名とのことであった。

センターが断ったケースは一つもなかったということだが、センターができたばかりなので、様子をみたいとか、戻るとしたら、自分が今まで通っていた学校に戻れるようにしたいとか様々な意見があって、最終的には13名になったということである。

13人のうち、オンラインが中心になるだろうと考えていたところ、11人が通ってきて2人がオンラインという状況とのことである。予想以上に通ってくる子が多かったということについては、驚いたとのことであった。それは、「学校らしくない学校」だからなのか、教室の内側の周りが全てホワイトボードだった。先生に言いたいことがあれば、そこに書いても良いようになっている。ホワイトボードも使って学習

することもある。

また、「学校らしくない学校」ということで、驚いたのは、建物の階によって壁の色が違うことである。1階は、クリーム色で、心を落ち着かせる意味があるそうである。2階は水色で、活動をするとかエネルギーギッシュになるという意味だそうである。3階は薄いピンク色で、安定感を重んじる色だそうである。

何よりも驚いたのは、勧められて座った椅子が揺れて、遊んでいるような感じがしたことである。勉強に飽きると、こちらに来てこの椅子に座り、しばらくすると戻るといった活動が自由に保障されていた。登校時刻も引地中学校の子どもたちと会わなくても良いように、9時半までに登校すれば良いという配慮もされているということである。

「学校らしくない学校」というものを実感したところである。一人で勉強したい子のために仕切りにファスナーがついていて、ファスナーを開ければ、隣の子と出会えるようになるなどの工夫もされていた。

給食はなく、弁当持参だったが、考え方によっては、自由なものを持ってこれるという良さだと考えられる。ここでは、先生の指示はほとんどなく、自分たちの思いや考えを大切にしているスタイルがあった。

○教育長 長く教員をやられていた村岡委員さんですらびっくりしたところなので、機会があれば、訪問してみたいと思いました。ありがとうございました。

○委員 こういう場所があるということは、親にとっても、子どもにとっても安心感につながると思った。子どもたちによっては、カリキュラムがあっても、直前になっても来るか来ないか分からないことがあり、しっかり計画されていると感じた。あくまでも、その子の様子で、その通りに行くかどうかはその時の様子に合わせて判断していた。場所が広いので、子どもたちがどこにいるか把握できるような工夫がされていて、そのための約束がしっかりされていた。ただ、説明した人が青少年相談室の担当の方だったので、実際の先生の声が聴けずに残念だった。

○委員 中学校卒業後の社会的な自立という考え方は、大事だと思う。私も教えていてすごく大事だと思っています。小中学生は、適応指導教室があるが、高校生の子どもを持つ保護者から連絡が来ることもある。行政としてそのような子どもの相談に乗れる場所を作る必要があるかもしれない。

○教育長 特別支援学級、障害のあるお子さんに関する研究会に出ますと、自立できる人に、税金を払える人になってほしいというのがよく言われることですが、それを実践している点は感心してしまいました。

報告事項（3）かいせいスポ・レクフェスティバルの開催について

○教育長 報告事項（3）かいせいスポ・レクフェスティバルの開催について事務局から説明してください。

○事務局

資料3をご覧ください。かいせいスポフェスティバル 2022 ということで、説明をいたします。8月1日のスポレク実行委員会によって3年ぶりの開催が決定しております。町民の方々が身近にスポーツを楽しむ、年齢問わずに参加できることが特徴となっております。また、スポーツが苦手な子どもたちが気軽にスポーツに親しめることから、スポーツへの意欲向上にもつながると考えています。日時は、令和4年10月2日、10時から15時までを予定しております。雨天の場合は、中止とさせていただきます。会場は、開成水辺スポーツ公園となっております。動員の想定人数は、1000人を見込んでおります。

参加種目ですが、ニュースポーツ、パラスポーツを含む16種目を予定しています。開成町スポーツ協会、開成町スポーツ推進委員、少年少女スポーツ団体の協力により、種目の運営を行います。

その他になりますが、種目との関連になるのですが、種目を周遊できるように、スタンプラリーを実施いたします。16種目のうち13種目がスタンプラリーの対象種目となっており、そのうち7種目に参加いただくと、抽選をする権利を得られます。抽選の結果によって、景品を決定していくことになっていきます。こちらにつきましては、本部と救護所、フードコーナーも設置をいたします。フードコーナーは、開成町商工会、湘南ベルマーレが担当をする予定です。フードコーナーですが、感染拡大の状況によっては、なくなる可能性もあります。参加する各団体のPRブースも設置していこうと考えています。

あじさいちゃんと踊ろう！かいせいマーチという企画政策課の事業があります。あじさいマーチを使ってプロモーションビデオをつくっていこうという企画になっています。当日水辺公園に集まった方に声をかけましてプロモーションビデオの撮影に協力いただくことになっております。

コロナの感染への対策ですが、検温ブースを設置しまして来場者に対して検温を実施していきます。緊急事態宣言、蔓延防止が発せられた場合、県内の感染状況や医療ひっ迫状況を示すレベル3になった場合、町内において感染者が著しく増加した場合につきましては、開催の可否について協議を進めていく予定になっています。直近で阿波踊りが予定されておりますが、開催の予定となっております。

開催の可否について注視しながら、スポレクの開催に向けて準備を進めていきたいと思っておりますので、ご承知おきいただければと思います。以上です。

○教育長

10月2日に予定をしていると、今のところ開催する予定です。コロナの状況によっては中止も考えられるということです。外で2メートル以上取れますので、できればやってほしいという思いは強いですが、それだけ日ごろから皆さん感染防止に努めてもらえたらいいなあと考えているところです。実行委員の方でも慎重に検討を重ねているところです。

報告事項（4）開成町立学校の様子について

○教育長

園・学校の夏季休業中については、特段、大きな事故事件の報告は一件もありませんでした。園児、児童、生徒等のコロナ罹患情報については、逐次、教育委員会に情報が入ってきています。

開成南小学校ですが、本日は、22名の児童が欠席しました。通常ですと、15名を超えると多いという感覚があります。このうち6名がコロナによる欠席という状況です。

文命中学校についてですが、大規模改修工事は順調に進んでいます。床、壁、天井がきれいになり生徒も喜んでいるという状況です。

開成小学校では、ガス施設の更新工事を実施しました。また、敷地内の高木伐採も行いました。

開成南小学校ですが、児童用水洗トイレのセンサーの感知が弱くなったということで、更新工事を実施しました。児童用のロッカーですが、整理できるスペースが増えています。また、体育館西側の雨樋を取り換え及び外壁の塗替工事を実施しています。先生方の夏休みですが、ICTの教育研修を行いました。グーグルから無償で指導者が来てクロームブックのコア研修を行いました。実際に少しの時間参加しましたが、多様な機能があることがよくわかりました。

8月23日には、教育講演会を実施しました。学校の教職員はリモート、一般参加者は、会場において参加していただき、無事に実施することができました。

生涯学習関係では、あしがらロングライドを一市五町の実行委員会形式で実施しました。全国から531名の応募があり、当日の参加が490名ほどでした。

三歳児教室やジュニアサマースクールも数年ぶりに無事に行うことができました。

報告事項（5）その他

○事務局

放課後子ども教室事業について現時点の状況をご報告させていただきます。

まず、「放課後子ども教室」の趣旨ですが、放課後における児童の安全で安心な活動拠点、「居場所」を設け、遊びや学びを通して児童の健全育成を図ることとしています。内容ですが、開成小学校、開成南小学校それぞれに、コーディネーター1名と、サポーターを10名程度配置して、自習、読書、昔の遊び、など自由活動をしたいと考えています。対象者は、2つの小学校の全児童となりますが、今年に限っては、小学校での異年齢交流は2学年までとなっていることから、1年生と2年生の2学年を予定しています。参加者は、希望者となります。開設する日は、給食がある水曜日で、月に1、2回と考えています。開設する時間ですが、冬季時間の10月から3月までは、下校時間から午後4時までと考えています。

最後に、まだまだ、開成町のコロナ感染者が増加傾向にあるため、この事業の開始する時期については、2つの小学校の校長先生と十分に調整をして、始めたいと考えています。

○教育長 数年間、放課後子ども教室は開設していませんが、今後、開設するのか否か慎重に検討しているところです。

皆様方から何か御質問等は、ございますか。

○委員 開成南小学校の多目的ホールで活動していて気になることがあるので報告する。1か所入り口は開けることはできるが、対角線上の窓が開けられない。ハンドルが外れていて鳥が入るといった話もあったが、上の窓が開けられない状態にしたままだと思う。できれば、入り口を開けて、対角線上の上の窓を開けたいと思っているのだが、一か所でいいので配慮していただきたい。

○教育長 確認させていただきます。なお、9月の定例議会の一般質問において学校教育に関わる質問が5名の議員から出ています。通学路、学校施設、給食費無償化、新学習指導要領の進捗状況等についてです。機会がありましたら、議会を傍聴していただけたらと思います。

閉 会 : 教育長より閉会の宣言